

3月22日は「世界水の日」



The Dancyu News

ダンチュウ ニュース

APRIL 2009

文・編集部



「TAP TOKYO」に関する問い合わせ先
日本ユニセフ協会 ☎0120-881052 (9:00~18:00 土日祝休み)



どのように参加すればいい？

- ① 3月20日(金)~22日(日)の間、TAP PROJECTに参加しているレストランに食事に行く。(※実施期間は一部異なります)
- ② 客席に用意された「テーブルカード」を読み、趣旨を理解する。
- ③ 無料でサービスされる水に対して100円以上を机に置いて帰るか、店に用意された募金箱などに募金を入れて帰る。



TAP TOKYO 2009 参加レストラン一覧

ラ・ベットラ・ダ・オチアイ/ビス・ラ・ベットラ(銀座)、中国小菜 龍園(西浅草)、賛否両論(恵比寿)、レストラン・ヒロ 青山本店(南青山)、ルビーナ(南青山)、ラ・ロシェル 渋谷本店(渋谷)、ahill(西麻布、銀座)、Salon de Gout(西麻布)、福わうち(白金)、麵処 中村屋(海老名)、海味(南青山)、なすび亭(恵比寿)、タツヤ・カワゴエ(代官山)、オステリア・ルッカ(広尾)、アル・ボルト(西麻布)、レ・クレアシオン・ド・ナリサワ(南青山)、オーセンティック(高円寺)、麻布長江 香福筵(西麻布)、吉住(恵比寿)、四五六菜館(山下町)、グッチーナ(三軒茶屋)、ヌキテバ(東五反田)、ちゃぶ屋(護国寺)、スーツァンレストラン 陳(渋谷)、フランクリン・アベニュー(東五反田)、HOUSE(西麻布)、レストラン キャンティ(飯倉、西麻布、自由が丘)、T.Y.HARBOR BREWERY(東品川)、CICADA(南麻布)、beacon(渋谷)、オテル・ドゥ・ミクニ(四谷)、キハチ 銀座本店(銀座)、SELAN(北青山)、レストランテ濱崎(南青山)、Toshi Yoroizuka(恵比寿)……ほか多数が参加予定(順不同)。詳しくは公式HP(<http://www.taproject.jp/>)。

テーブルウォーターにチップを払って
きれいで安全な水を、世界の子供たちに

TAP PROJECT 東京でスタート！



毎月22日は「夫婦の日」。読者の中にも、夫婦で外食をするきっかけにしている方もいるだろう。では、3月22日に定められた、とある国際デーをこ存じの方は、どのくらいいるだろうか？
この日は「世界水の日」。清潔で安全な水が手に入らず苦しむ人々が世界中に8億人以上おり、汚染された水で、毎日4000人以上の子供たちが命を落としていることなどに目を向けるため、1992年に国連で制定された。
そして2007年の世界水の日。ニューヨークのレストランでは、無料で提供される水(TAP WATER)に、100円以上のチップを払い、そのお金をユニセフの水に関する活動費に充てる、「TAP PROJECT」が始まった。2000以上のレストランが協力して10万ドルの募金を集め、翌年は全米46州に拡大。

今年、このプロジェクトは「TAP TOKYO」として東京で開催される。
昨今、シェフ選りすぐりのミネラルウォーターがメニューに並ぶ店も少なくないが、私たちが外食の際に気兼ねなく口にするテーブルウォーターに「お金を払わなければ」と考えることは極めて稀だ。水は無料で提供されるのが当たり前。それが、安全な水を享受する、われわれ日本人の水への意識だ。
未曾有の不況が叫ばれている。それでも私たちが外食をただちにやめなくてはならないような状況は、まだ先のようだ。警沢はしなくても、記念日くらいはちょっとしたレストランに出かけることもできそう。この活動、安全な水が思うように手に入らない国の人々を思いやるきっかけとして、今後、日本でも広まっていくだろう。



子供が学校にも行けずに負担する水汲みも、井戸があれば緩和できる。
©UNICEF/HQ06-0149/Kamber